

## 令和6年度第3回企画検討会における主な指摘と対応方針

## 資料2

大項目	中項目	主な指摘	対応方針
1. 有明の丘研修	周知・募集の強化・改善	・被災者支援コースで取り扱う避難所の内容では、施設管理者や教育機関が関係する。防災部局から関係部局に参加を呼び掛けてもらうのはどうか。	・防災部局を通じた参加呼びかけの範囲拡大を行うとともに、引き続き各省庁を通じた周知・募集を行う。
		・有明の丘研修は、旅費や日程の問題から遠方の自治体の参加が少なくなる。そうした地方では地域研修を推進するなど、地域研修との役割分担も考えられるのではないかな。	・有明の丘研修への参加が少ない地域に対する地域研修の活用を進める。
		・ホームページについて、ユーザー側の閲覧の流れを想定した設計が必要ではないか。いくつかのモデルパターンでフローを作成して検討してはどうか。	・利用しやすく、視認性の高いホームページのリニューアルに向けて、見直しの方向性について検討する。
	各コースの見直し	・対面演習の実施レポートを今後の知見の蓄積に活用するのであれば、演習で使用したツールについても、資料への記載が必要ではないか。	・演習レポートから、演習の内容や方法、使用したツールが分かるよう資料に記載する。
	能力評価方法(テスト)	・多肢選択形式は他の回答と比較することでより理解が深まる。 ・多肢選択形式では全く異なる回答選択肢を組み合わせるとかえって負担が増すので、出題者が判断して○×形式か多肢選択形式を選択できると良い。	・○×形式と多肢選択形式を組み合わせた形式を基本とする。今後は、テスト作成の進め方について検討を進める。
	GADMとの連携	・GADMと防災SP研修では研修の目的や立ち位置が異なるため、関係性などを整理・共有した上で、どう連携するのかを明確にする必要があるのでは。 ・内容の重なっている部分でのオンデマンド講義の共有化は有効ではないか。	・GADM研修と防災SP研修で扱っている研修内容の相関を整理し、研修間の連携について検討する。
2. 地域研修	意向調査結果を踏まえた周知の改善	・地域研修の応募を促すには標準的なカリキュラムが必要ではないか。過去の実施の様子の写真などを入れてアピールできると良いのではないかな。 ・地域研修を実施した県から、都道府県に対して報告会を行ってはどうかな。費用負担や国の支援等のイメージの共有化が図られるのではないかな。	・意向調査を踏まえ、地域研修参加に向けた声かけの対象や周知方法、募集時期等を検討する。 ・研修応募や研修内容検討にあたり、参考となるリーフレットや標準的なカリキュラム(案)等の整備を進める。
	自治体が行う防災人材の育成	・自治体がどのような研修を実施しているか確認してはどうか ・地域防災計画に防災人材の育成について、どのように書かれているのか調査してはどうか。	・意向調査結果をもとに、各自治体が行っている内容や方法について整理する。
3. eラーニング	整備・視聴状況	特に意見なし	—